

兵庫県下の経済動向

平成24年12月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、弱含みとなっている。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産は減少している。設備投資は引き続き増加計画にあるものの、弱めの動きが拡がりつつある。個人消費は横ばい圏内で推移している。一方、住宅投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。この間、雇用・所得環境は改善の動きが一服している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が4か月連続で前年を上回った。

乗用車販売は、小型乗用車および軽自動車が増加したものの、普通乗用車が減少し、全体では3か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、貸家、分譲がいずれも増加し、全体では2か月連続で前年を上回った。

公共工事は、神戸市が減少したものの、国、独立行政法人等、兵庫県、神戸市を除く市町、その他の団体が増加したことから、2か月連続で前年を上回った。

貿易は、輸出が米国向けが増加したものの、EUおよび中国を含むアジア向けが減少し、11か月連続で前年を下回った。また、輸入については5か月ぶりに前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、情報通信機械工業、輸送機械工業などの低下により2か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数、一人当たり名目賃金は、いずれも前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前月および前年を下回ったものの、金額は前月および前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

9月の兵庫DIは、先行42.9%、一致指数44.4%、遅行指数50.0%となった。

9月の兵庫CIは、先行指数88.6、一致指数90.4、遅行指数101.8となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、遅行指数は50%となった。

一方、兵庫CIは、先行指数が4か月ぶりに前月差増となり、一致指数および遅行指数が2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「局面変化を示している」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

10月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は86.6、前月比7.5%低下。出荷指数は85.4、同6.9%低下。在庫指数は129.2、同2.9%低下。在庫率は142.3、同9.9%低下。生産指数、出荷指数、在庫指数がいずれも2か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が8.8%減で8か月連続、出荷は10.8%減で9か月連続で低下した。また在庫は7.0%増で28か月連続で上昇した。

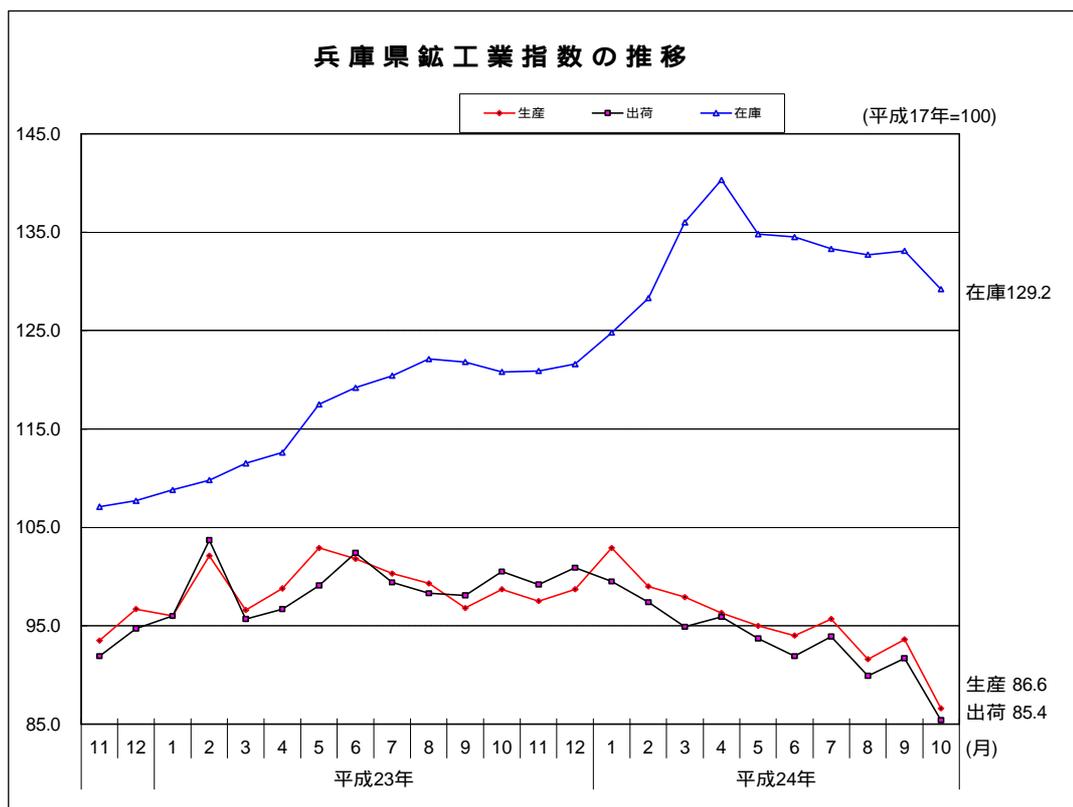
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、清酒等の「食料品」が5.1%、普通鋼冷延広幅帯鋼等の「鉄鋼」が0.7%、各々上昇し、一般用蒸気タービン等の「一般機械」が24.8%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が12.5%、旅客車等の「輸送機械」が11.5%、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が11.2%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が7.8%、自動車排気ガス浄化用触媒等の「化学」が2.1%、電力変換装置等の「電気機械」が1.3%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「低下傾向にある」としている。

10月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減(%)
生 産	86.6	7.5	89.0	8.8
出 荷	85.4	6.9	88.6	10.8
在 庫	129.2	2.9	130.5	7.0
在 庫 率	142.3	9.9	136.3	4.7

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



10月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業種	指数	対前月比増減%	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼	87.5	0.7	上昇	普通鋼冷延広幅帯鋼、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋳鉄管
			低下	普通鋼鋼管、鋼半製品、銑鉄、粗鋼
金属製品	72.8	7.8	上昇	ガス湯沸器、粉末や金製機械材料、線ばね、水門(水門巻上機を含む)
			低下	ガス温風暖房機、超硬チップ、ガス風呂がま、橋りょう
一般機械	80.0	24.8	上昇	はん用内燃機関、プレス用金型、建設用クレーン、ダイカストマシン
			低下	一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、プレイバックロボット
電気機械	118.3	1.3	上昇	一般用タービン発電機、開閉制御装置、太陽電池モジュール、内燃機関電装品
			低下	電力変換装置、リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、プログラマブルコントローラ
情報通信機械	110.5	12.5	上昇	携帯電話、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、カーナビゲーション、搬送装置
			低下	パーソナルコンピュータ、レーダ装置、固定通信装置、テレメータ・テレコントロール
電子部品デバイス	78.2	11.2	上昇	線形半導体集積回路、トランス(コイルを含む)、レーザダイオード、シリコンウエハ
			低下	電界効果型トランジスタ、シリコントランジスタ(1W未満)、シリコントランジスタ(1W以上)、PDPモジュール
輸送機械	70.6	11.5	上昇	機関部品、懸架制動装置装置部品、特装ボデー、特殊自動車
			低下	旅客車、船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、鋼船
化学	75.9	2.1	上昇	化粧品、ポリスチレン、溶剤系合成樹脂塗料、無水酢酸
			低下	自動車排気ガス浄化用触媒、医薬品、酢酸(99%換算)、二塩化エチレン
食料品	100.5	5.1	上昇	清酒、砂糖、パン類、即席めん
			低下	めん類、牛乳、クリーム

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた11月の県内百貨店売上高は、前年同月比4.2%増の185億13百万円で、4か月連続で前年を上回った。気温が下がったため冬物衣料が売れた。

神戸地区は5.3%増。特に売上高に占める割合が大きい婦人服・洋品が11.4%と大きく伸びた。各店でコートや防寒具などが好調だった。大丸、そごう両社ともカード会員向けなどのキャンペーン効果で来店客数が増え、食料品もプラスとなった。

姫路・加古川地区は0.8%減。婦人服はプラスだったが、食料品部門が下げた。山陽百貨店の地下出入り口がJR姫路駅前の再開発工事で一時閉鎖されているのが響いた。

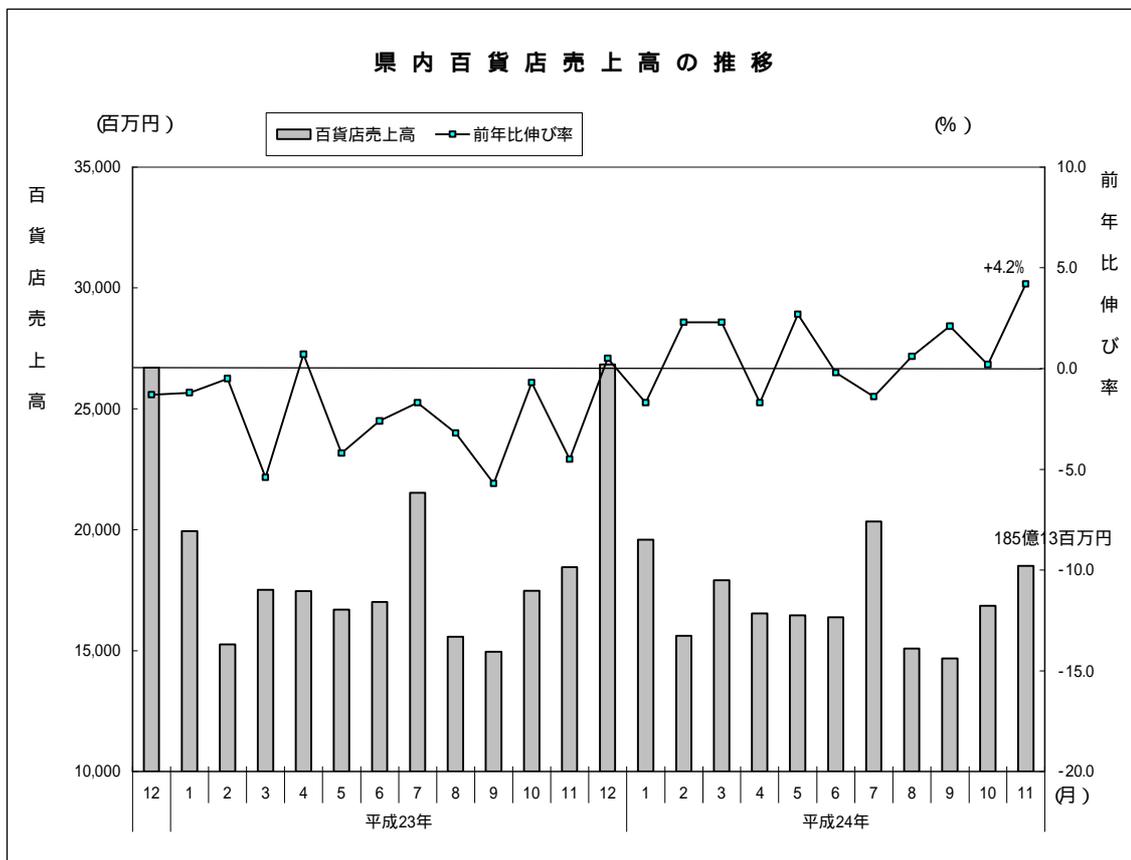
11月の県内百貨店売上高

品目	地区		
	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	1,018(4.9)	230(1.6)	1,248(4.3)
婦人服・洋品	4,711(11.4)	814(1.6)	5,525(9.8)
子供服・洋品	348(7.2)	99(3.9)	447(6.4)
身の回り品	1,502(5.0)	289(11.4)	1,791(6.0)
家庭用品	667(16.8)	166(10.3)	833(10.2)
食料品	4,241(2.6)	879(1.5)	5,121(1.9)
雑貨	2,129(3.7)	409(11.6)	2,538(5.0)
その他	722(3.0)	284(3.5)	1,007(3.1)
計	15,340(5.3)	3,172(0.8)	18,513(4.2)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内 11 月の乗用車新車登録台数は 15,160 台、前年同月比 2.5%減と 3 か月連続で前年同月の実績を下回った。

11 月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は 4,483 台(前年同月比 12.5%減)、小型乗用車は 4,114 台(同 1.0%増)、軽乗用車は 3,979 台(同 2.2%増)、乗用車合計で 12,576 台(同 3.9%減)となった。

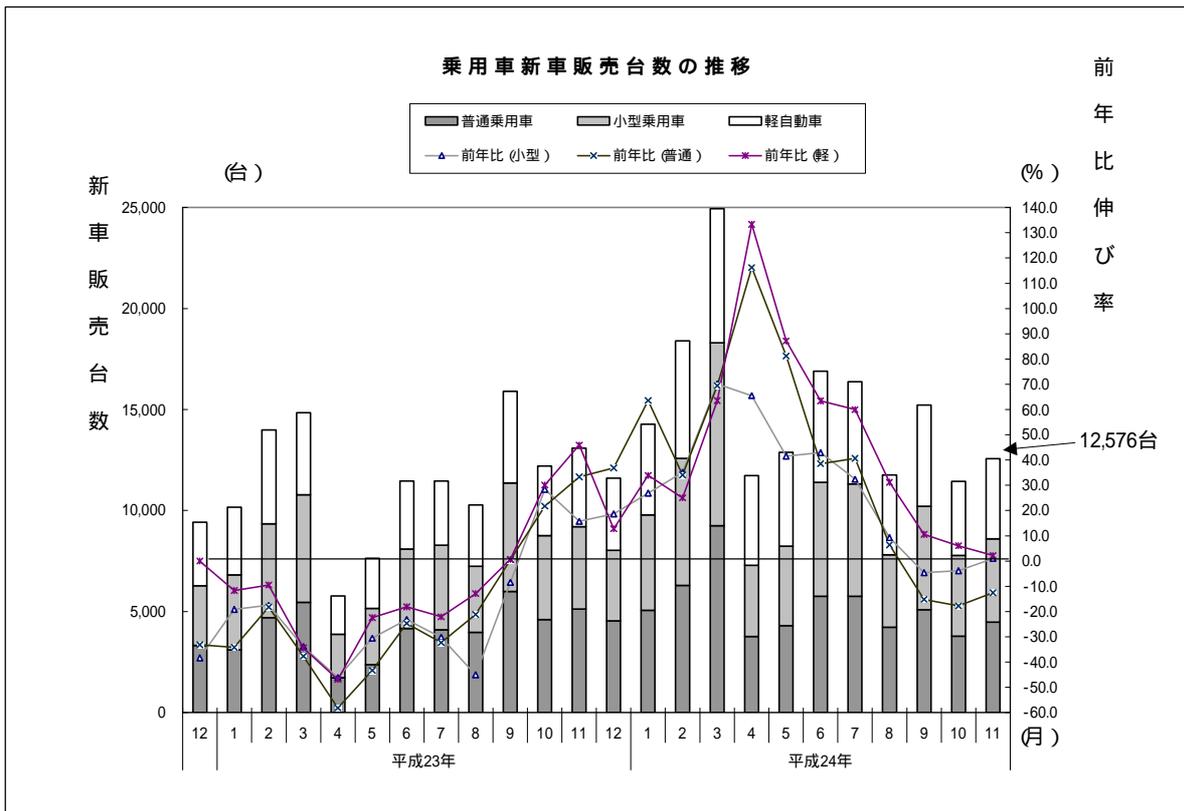
また貨物車等では、普通貨物車は 292 台(同 5.4%増)、小型貨物車は 581 台(同 2.0%減)、軽貨物車は 1,654 台(同 7.5%増)、バスは 57 台(同 16.3%増)となった。

11 月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,483	12.5	100,706	13.7
小型乗用車	4,114	1.0	113,056	8.4
軽乗用車	3,979	2.2	110,650	7.8
乗用車合計	12,576	3.9	324,412	0.2
普通貨物車	292	5.4	10,939	0.0
小型貨物車	581	2.0	18,542	4.3
軽貨物車	1,654	7.5	39,302	3.5
貨物車合計	2,527	4.9	68,783	3.2
バス	57	16.3	731	16.3
登録車総計	15,160	2.5	393,926	0.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が12月12日に発表した機械受注統計によると、平成24年10月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年9月前月比9.6%増の後、10月は同1.6%減の1兆7,873億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月前月比4.3%減の後、10月は同2.6%増の7,044億円となった。

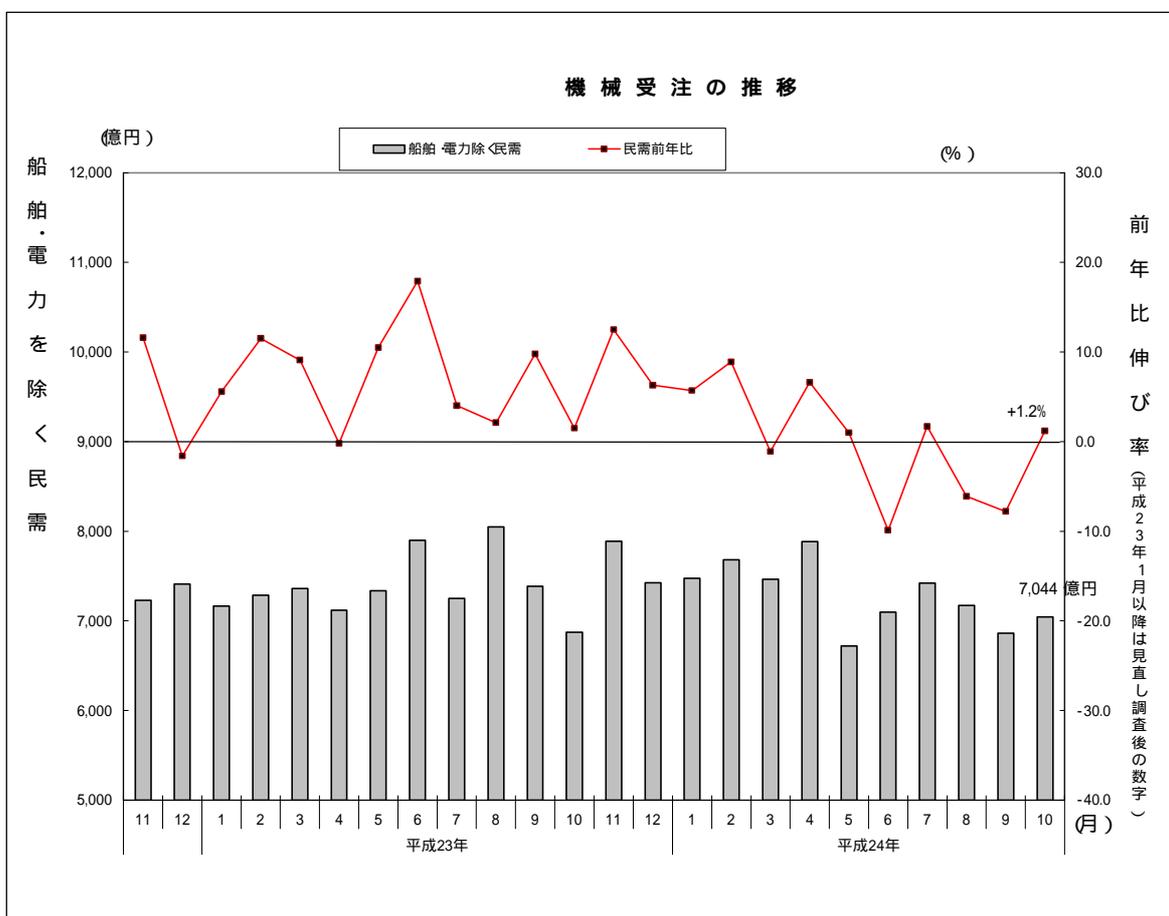
内訳をみると、製造業が同3.6%減の2,764億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同2.8%増の4,480億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、石油製品・石炭製品(61.2%増) 金属製品(30.6%増) 自動車・同付属品(17.8%増) 非鉄金属(12.2%増) 電気機械(4.1%増) 化学工業(3.8%増)等の10業種で、その他輸送用機械(22.9%減) 鉄鋼業(13.1%減) 情報通信機械(12.5%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(102.3%増) 鉱業・採石業・砂利採取業(56.8%増) 卸売業・小売業(36.2%増) 建設業(36.2%増) 情報サービス業(23.9%増)等の9業種で、電力業(47.3%減) 運輸業・郵便業(5.9%減)等の3業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年12月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+16.2% (製造業+25.9%、非製造業 12.4%)



機 械 受 注 統 計 (平成 24 年 10 月分)

	23 年 10~12 月 実績	24 年 1~3 月 実績	4~6 月 実績	7~9 月 実績	10~12 月 見通し	24 年 7 月 実績	8 月 実績	9 月 実績	10 月 実績
受注総額	62,834 (6.4) [1.4]	67,292 (7.1) [3.2]	58,815 (-12.6) [-4.0]	53,704 (-8.7) [-8.3]	56,248 (4.7) [-7.7]	18,972 (-2.6) [2.6]	16,573 (-12.6) [-18.6]	18,160 (9.6) [-7.8]	17,873 (-1.6) [-6.9]
民 需	27,404 (-0.1) [-0.3]	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,542 (1.1) [-5.8]	25,763 (-2.9) [-7.1]	26,720 (3.7) [4.6]	9,009 (4.3) [1.9]	7,779 (-13.7) [-13.7]	8,975 (15.4) [-8.2]	8,015 (-10.7) [-4.2]
” (Ex 船・電)	22,425 (-0.7) [6.7]	22,620 (0.9) [3.3]	21,702 (-4.1) [-1.7]	21,456 (-1.1) [-4.6]	22,525 (5.0) [7.6]	7,421 (4.6) [1.7]	7,123 (-3.3) [-6.1]	6,862 (-4.3) [-7.8]	7,044 (2.6) [1.2]
製 造 業	9,792 (-0.7) [4.1]	9,804 (0.1) [-0.5]	9,234 (-5.8) [-7.6]	8,942 (-3.2) [-9.5]	8,327 (-6.9) [-9.2]	3,284 (12.0) [4.0]	2,790 (-15.1) [-18.4]	2,868 (2.8) [-12.7]	2,764 (-3.6) [-13.3]
非製造業 (Ex 船・電)	12,728 (-0.5) [8.6]	12,791 (0.5) [6.4]	12,794 (0.0) [3.1]	12,808 (0.1) [-1.3]	14,639 (14.3) [23.0]	4,152 (-2.1) [-1.0]	4,300 (3.6) [3.9]	4,357 (1.3) [-4.7]	4,480 (2.8) [13.3]
官 公 需	6,756 (9.6) [1.0]	7,496 (10.9) [30.6]	7,811 (4.2) [26.7]	7,115 (-8.9) [18.1]	6,818 (-4.2) [12.1]	2,321 (-13.5) [10.4]	2,156 (-7.1) [7.3]	2,638 (22.4) [29.3]	2,146 (-18.7) [3.8]
外 需	25,912 (6.7) [1.9]	27,613 (6.6) [-1.3]	22,904 (-17.1) [-9.4]	19,867 (-13.3) [-18.0]	20,221 (1.8) [-24.0]	7,340 (3.0) [-1.9]	6,263 (-14.7) [-31.1]	6,264 (0.0) [-18.4]	6,854 (9.4) [-12.8]
代 理 店	2,673 (11.6) [15.7]	2,946 (10.2) [20.4]	2,768 (-6.1) [7.8]	2,705 (-2.3) [11.7]	2,776 (2.6) [3.7]	1,043 (14.1) [35.7]	814 (-22.0) [6.5]	847 (4.0) [-3.6]	826 (-2.5) [-3.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内 10 月の新設住宅着工戸数は、総数で 3,051 戸(前年同月比 23.0%増)となり、持家、貸家、分譲住宅がいずれも増加し、全体では 2 か月連続で前年を上回った。また、前月比では 517 戸の増加となった。

10 月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	971	8.2	28,894	13.0
・分譲住宅	945	24.7	21,064	14.2
貸家系・貸家	1,128	37.7	33,939	48.2
・給与住宅	7	16.7	354	3.5
総数	3,051	23.0	84,251	25.2

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

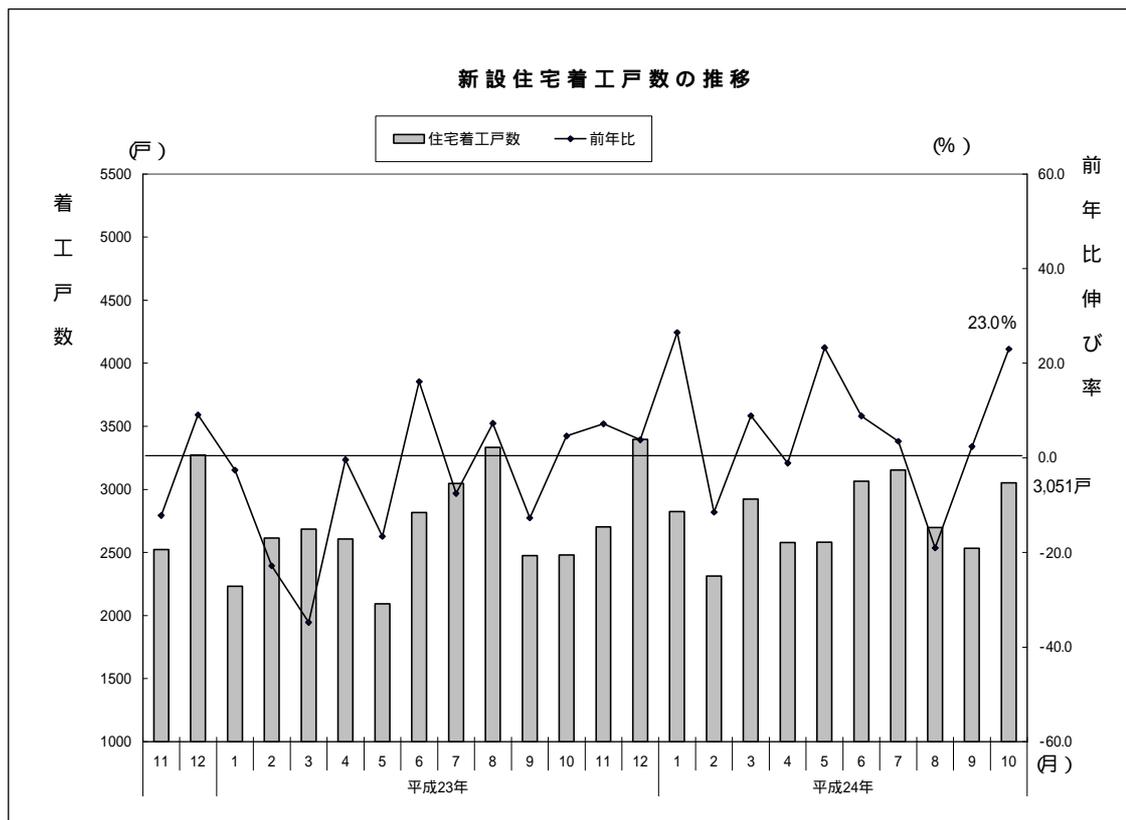
10 月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	927	529	287	430	161	504	105	45	24	39	3,051
前月比	307	-41	-82	53	93	190	4	1	-11	3	517

資料：兵庫県住宅計画課

平成 24 年 10 月の新設住宅着工累計は、総数で 19,662 戸、前年同期比 810 戸の増加となった。利用関係別では「持家」が 6,471 戸(前年同期比 1.7%減)、「分譲住宅」が 6,850 戸(同 3.2%増)、「貸家」が 5,995 戸(同 7.7%増)、「給与住宅」が 346 戸(同 424.2%増)となった。



【公共工事】

11月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は566件で前年同月比12.3%の増加、請負金額は289億81百万円で同55.7%の増加となり、金額ベースでは2か月連続で前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」が前年同月比43.0%の減少となったものの、「その他の団体」同757.0%、「独立行政法人等」同155.7%、「国」同141.4%、「兵庫県」同43.0%、「神戸市を除く市町」同1.0%の増加となり、前年同月を上回った。

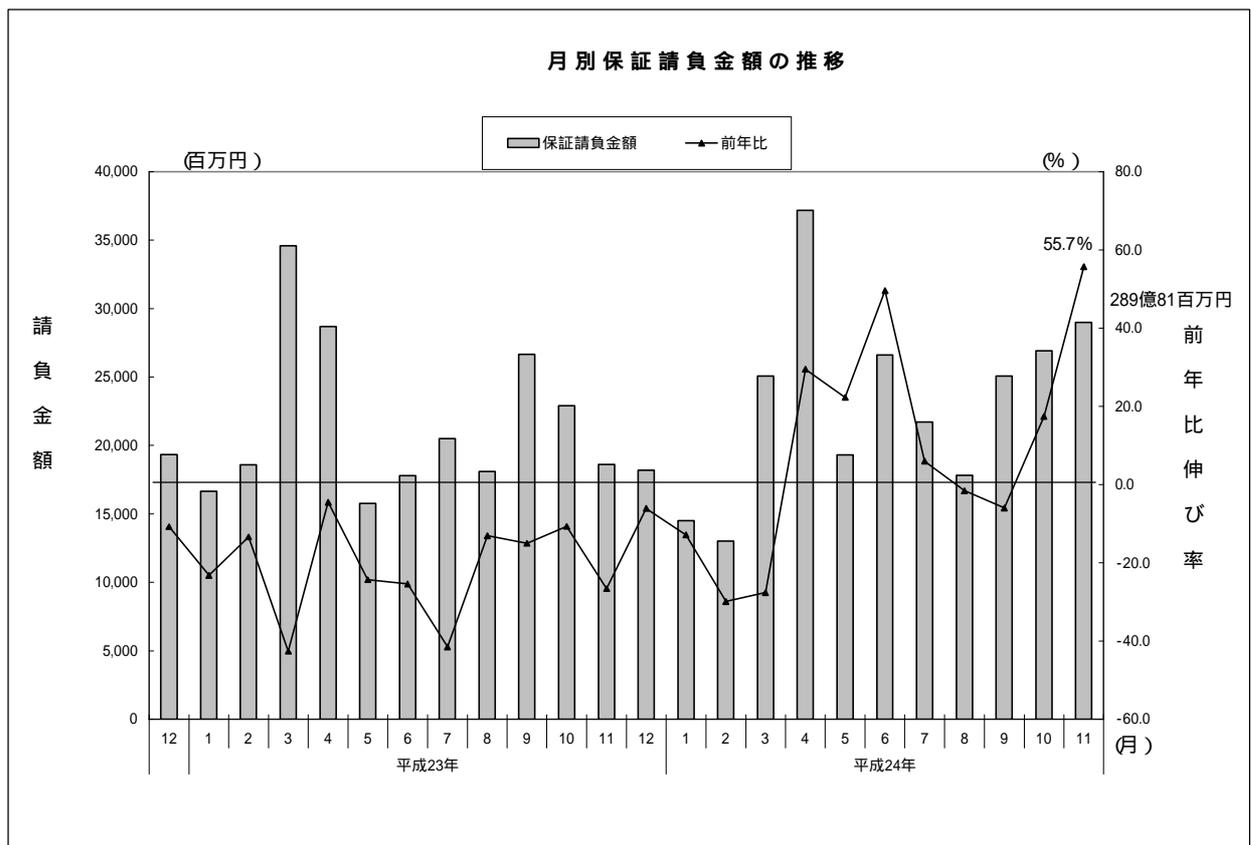
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比481.0%増) 阪神北(同420.7%増) 阪神南(同58.5%増) 但馬(同27.7%増) 西播磨(同22.2%増) 東播磨(同16.8%増) 丹波(同12.4%増) 北播磨(同2.3%増)で増加、中播磨(同20.7%減) 神戸市(同6.9%減)で減少となった。

11月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	22(29.4)	1,932(141.4)	神戸港ポートアイランド(第2期)地区荷さばき地改良工事
独立行政法人等	14(33.3)	2,351(155.7)	新名神高速道路切畑玉瀬工事、大阪国際空港地下道地盤改良工事
兵庫県	207(24.0)	9,306(43.0)	加古川水系曇川曇川排水機場(機械)工事、178号浜坂道路余部・新桃観(東工区)トンネル工事
神戸市	68(5.6)	2,152(43.0)	大容量送水管(奥平野工区)鋼管工事
神戸市を除く市町	228(10.7)	5,799(1.0)	
その他の団体	27(28.6)	7,437(757.0)	宝塚弥生計画(仮称)新築工事、聖隷淡路病院新築工事
合計	566(12.3)	28,981(55.7)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿 易】

平成 24 年 10 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 6,349 億円、前年同月比 5.7%の減少で、総額ベースで 11 か月連続の減少となった。輸出は、通信機などが増加したものの、建設用・鉱山用機械、荷役機械などが減少した。一方、輸入は、肉類及び同調製品などが減少したものの、有機化合物、衣類及び同付属品などが増加した。

輸出は 4,032 億円(前年同月比 9.9%減)と 11 か月連続で前年を下回った。

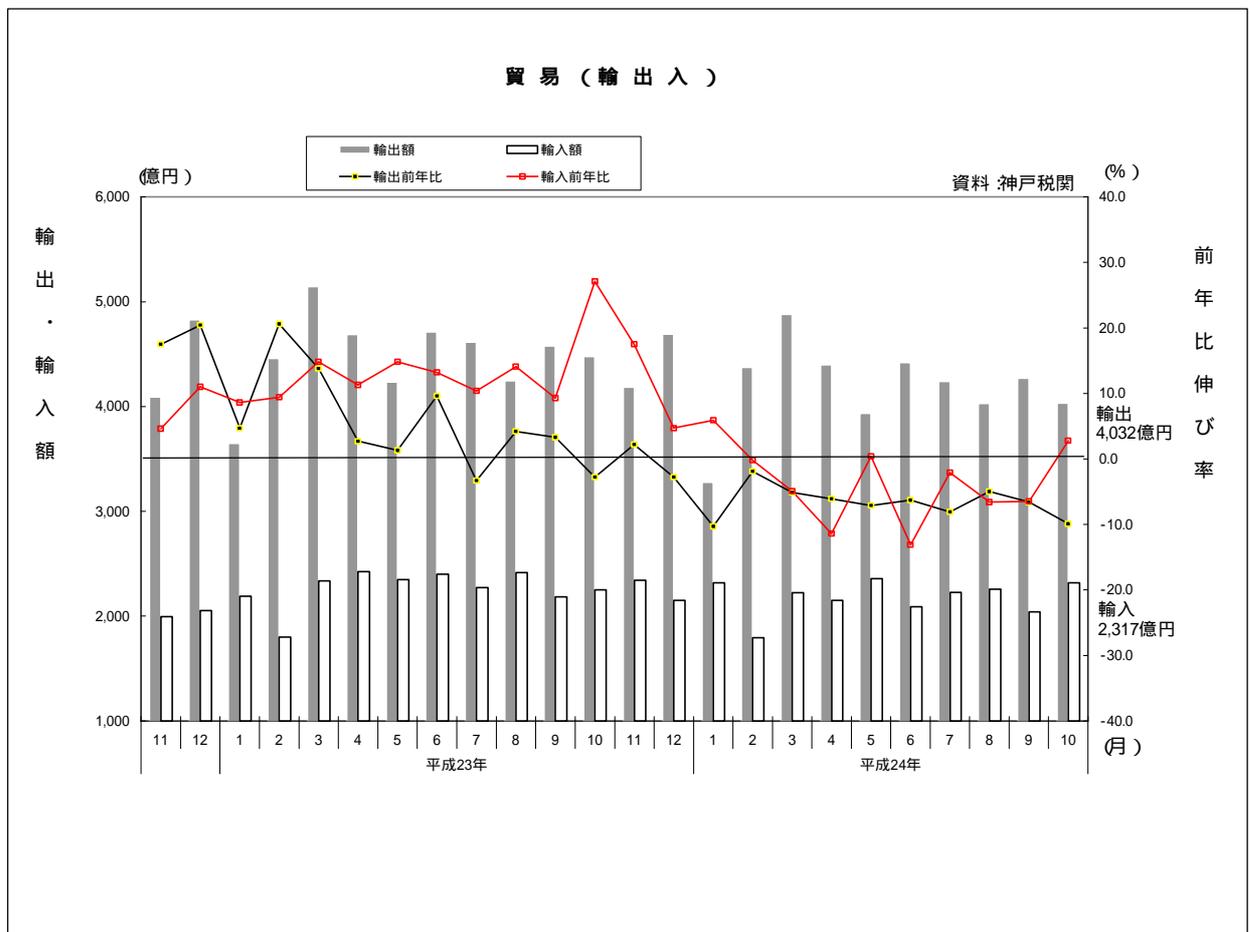
主要品目では、原動機(前年同月比 7.1%増、2 か月ぶりにプラス)が増加し、織物用糸及び繊維製品(同 4.0%減、5 か月連続マイナス)、プラスチック(同 8.0%減、3 か月ぶりにマイナス)、建設用・鉱山用機械(同 36.8%減、6 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比 16.4%増、4 か月連続プラス)が増加し、アジア(中国含む)(同 11.8%減、13 か月連続マイナス)、中国(同 12.8%減、13 か月連続マイナス)、EU(同 17.6%減、6 か月連続マイナス)がいずれも減少した。

輸入は 2,317 億円(前年同月比 2.8%増)と 5 か月ぶりに前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比 8.2%増、3 か月ぶりにプラス)、たばこ(同 10.4%増、3 か月連続プラス)、有機化合物(同 28.2%増、7 か月ぶりにプラス)が増加し、非鉄金属(同 21.2%減、3 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比 15.8%増、3 か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同 0.7%増、5 か月ぶりにプラス)、EU(同 10.3%増、2 か月ぶりにプラス)が増加し、中国(同 5.1%減、5 か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

11月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が98.8(平成22年=100)となり、前月比は0.7%下落、前年同月比は0.8%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.3となり、前月比、前年同月比とも0.5%下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.0となり、前月比は0.5%下落、前年同月比は0.3%下落となった。

前月からの動きを見ると、上昇した10大費目はなく、その一方で、野菜・海藻などの下落により「食料」が1.4%、教養娯楽サービスなどの下落により「教養娯楽」が1.5%、通信などの下落により「交通・通信」が0.5%、衣料などの下落により「被服及び履物」が1.1%、医薬品・健康保持用摂取品などの下落により「保健医療」が0.8%、家庭用耐久財などの下落により「家具・家事用品」が1.3%、電気代などの下落により「光熱・水道」が0.1%、理美容用品の下落により「諸雑費」が0.3%、それぞれ下落した結果、総合では0.7%の下落となった。

11月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	98.8	95.8	101.9	106.6	95.2	102.1	97.6	98.3	100.2	93.8	102.4	99.3	99.0
前月比	-0.7	-1.4	0.0	-0.3	-1.3	-1.1	-0.8	-0.5	0.0	-1.5	-0.3	-0.5	-0.5
前年同月比	-0.8	-2.9	0.3	1.5	-0.1	-2.1	-0.9	0.0	0.1	-0.4	-0.7	-0.5	-0.3

(注)平成22年=100

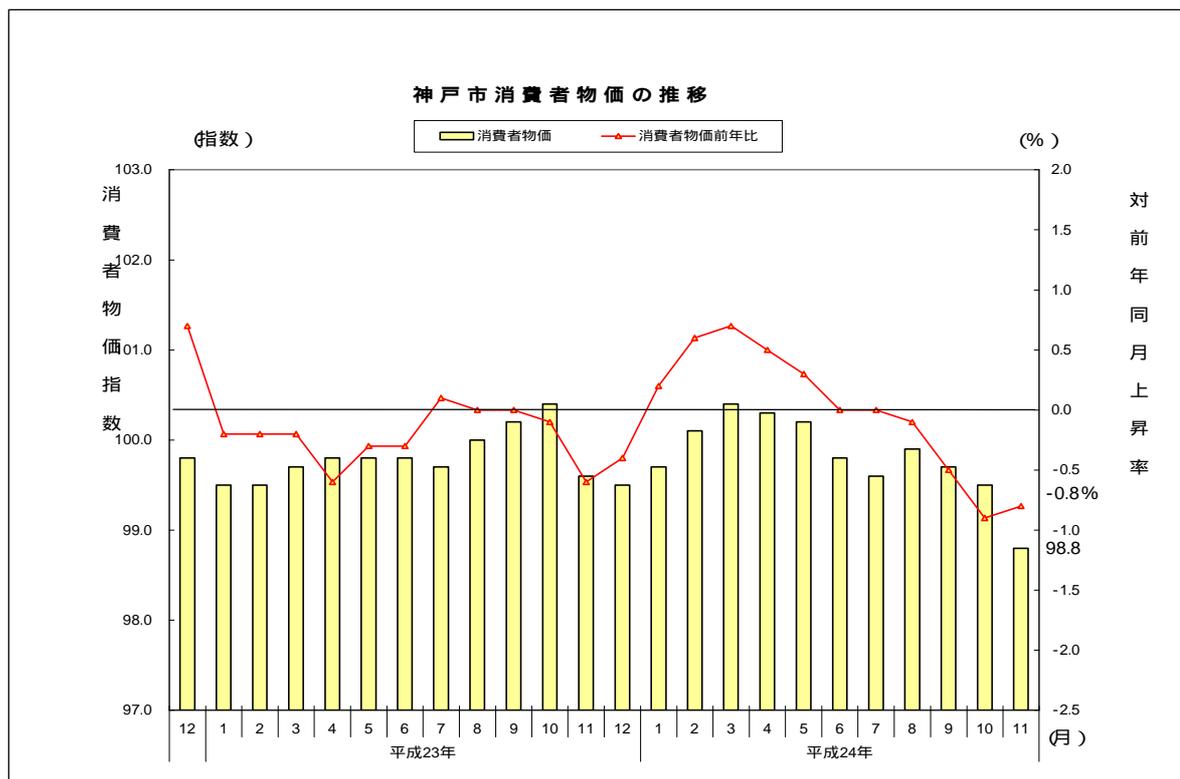
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目(参考表記)

酒類 (+ 1.5%)・・・ビール風アルコール飲料、ビール
家事用消耗品 (+ 0.5%)・・・台所用洗剤、柔軟仕上剤、防虫剤

対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (4.7%)・・・ほうれんそう、ねぎ、だいこん
教養娯楽サービス (2.6%)・・・外国パック旅行、宿泊料



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が12月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年11月の企業物価指数は次のとおり。

11月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	100.1	0.0	0.9
輸出物価	95.9	1.3	1.2
輸入物価	106.9	1.2	1.4

資料：日本銀行調査統計局

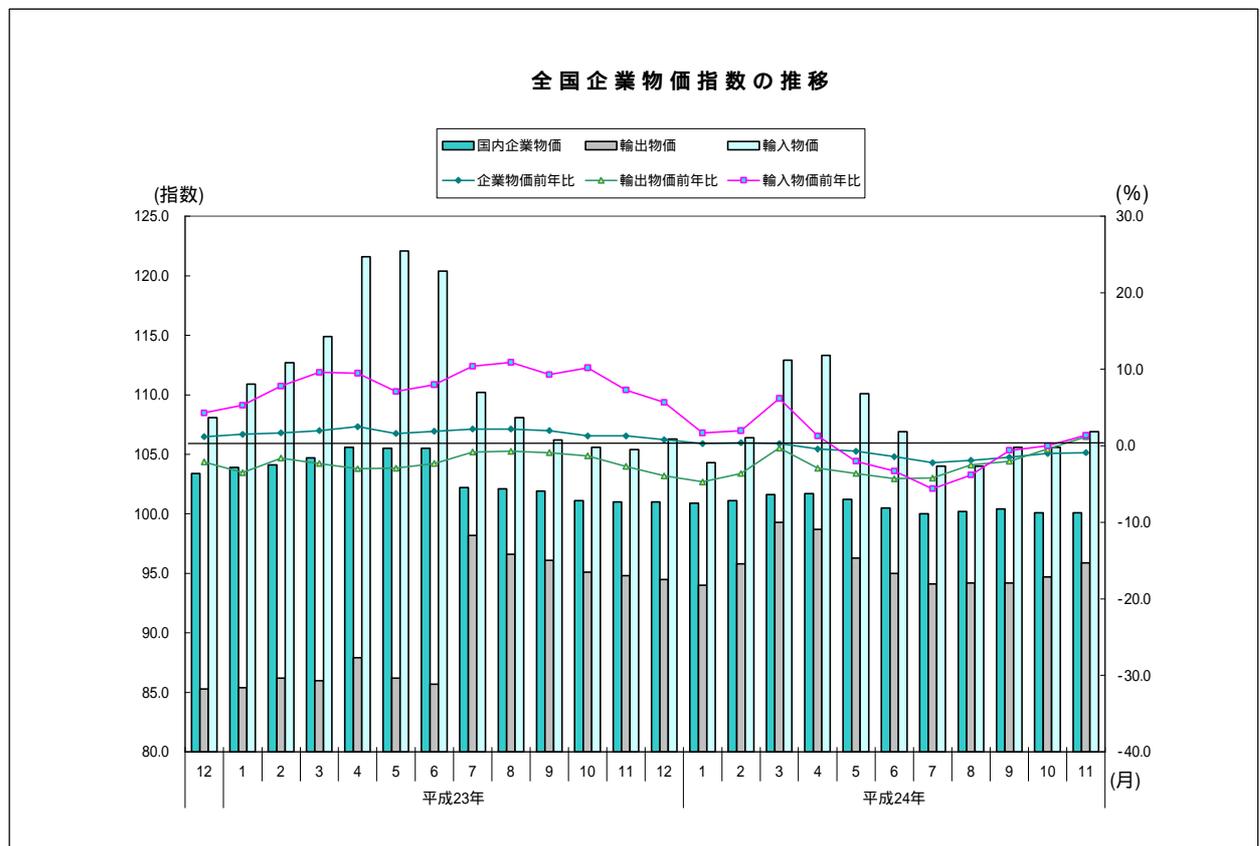
国内企業物価は、スクラップ類(前月比+4.5%<鉄くずなど>)、農林水産物(同+2.2%<玄米など>)、電力・都市ガス・水道(同+0.4%<産業用特別高圧電力など>)等が上昇、石油・石炭製品(同-0.6%<ガソリンなど>)、非鉄金属(同-0.6%<同地金など>)、鉄鋼(同-0.3%<鉄鋼切断品(薄板)>)等が下落し、全体では前月比横ばいとなった。

前年同月比では0.9%下落し、8か月連続でマイナスとなった。

海外経済の減速を背景とした需要の後退で、鉄鋼などを中心に値下がりが続いている。

輸出物価は、金属・同製品(前月比+1.2%<銅管など>)、化学製品(同+1.0%<カプロラクタムなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.3%の上昇(前年同月比+1.2%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+1.3%<原油など>)、金属・同製品(同+1.1%<銅鉱など>)、電気・電子機器(同+1.1%<携帯電話機など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.2%の上昇(前年同月比+1.4%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内10月の新規求人数(全数)は、28,247人(前年同月比9.0%増、前月比2.3%増)で、15か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は72,632人(前年同月比9.4%増、前月比2.7%増)で30か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.1%増で32か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同13.0%増で11か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同25.3%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比12.4%増)、情報通信業(同21.5%増)、卸売業、小売業(同17.4%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同2.9%増)、宿泊業、飲食サービス業(同11.5%増)、医療、福祉(同16.6%増)、サービス業(同14.5%増)は前年を上回ったが、製造業(同7.5%減)、運輸業、郵便業(同7.4%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同3.0%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

10月の新規求職申込件数(全数)は、24,357件(前年同月比2.0%増、前月比7.9%増)で、14か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は101,373人(前年同月比1.4%減、前月比1.5%増)で29か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比3.4%増で14か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.9%減で5か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比2.1%減で2か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比20.5%増で2か月連続、事業主都合離職者は同4.0%増で3か月ぶり、自己都合離職者は同5.9%増で3か月ぶりに前年を上回ったが、自営・他は同4.7%減で17か月連続、無業者は同27.7%減で10か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、27,993人(前年同月比4.6%増)で、2か月ぶりに前年を上回った。

(3) 求人倍率状況

10月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.08倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.67倍で前月より0.01ポイント下回った。

(4) 失業者の状況

10月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.2%、完全失業者数(原数値)は271万人(前年同月比18万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.8%(前年同月比0.3ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は50万人(前年同月比2万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年10月	28,247	2,042	3,284	367	1,484	4,704	188	518	824	2,340	1,126	7,230	3,291
前年同月比	9.0	12.4	7.5	21.5	7.4	17.4	13.3	3.6	2.9	11.5	3.0	16.6	14.5

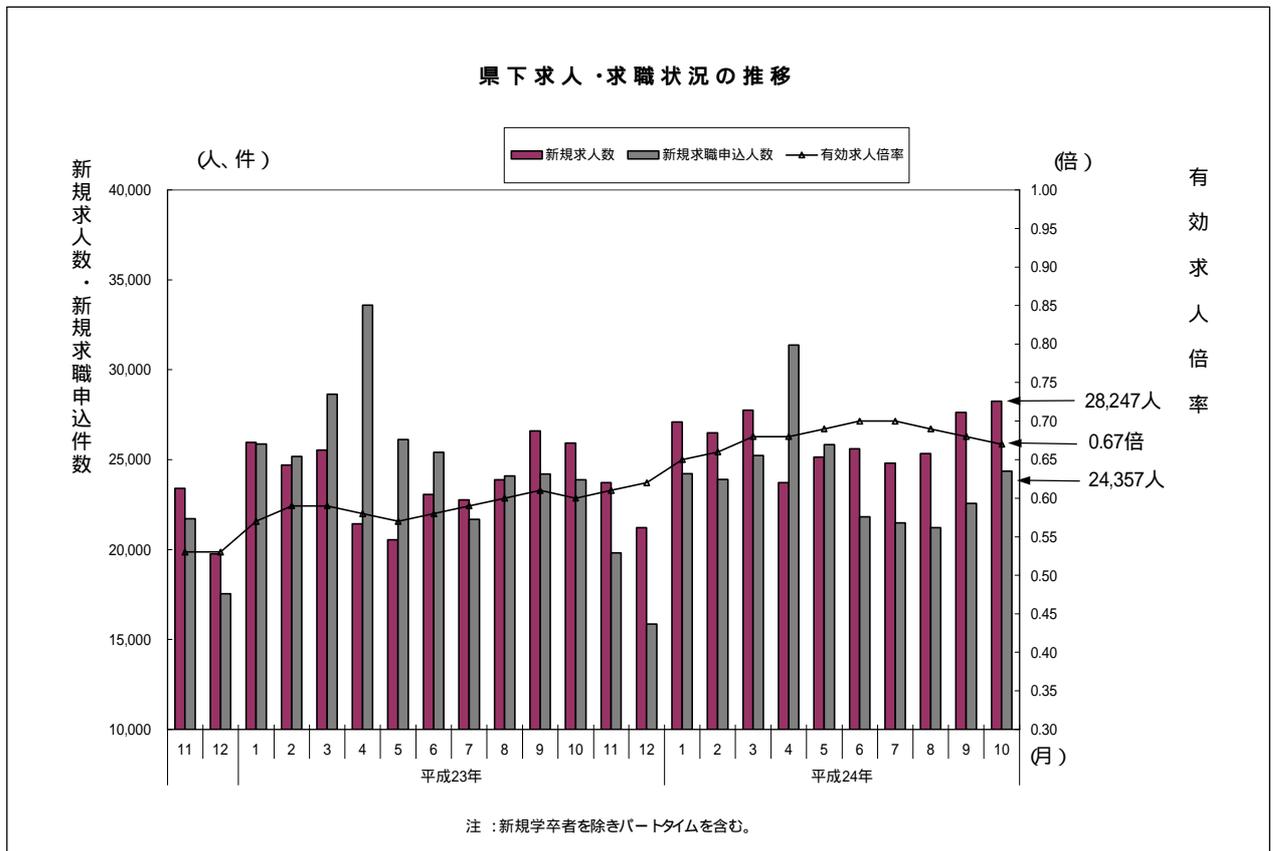
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	11/10-12	12/1-3	12/4-6	12/7-9	12/8	12/9	12/10
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.62	0.66	0.69	0.69	0.69	0.68	0.67
新規求人数 (原数値、前年比%)	3.0	6.8	14.5	6.1	6.0	3.8	9.0
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	2.3	2.2	5.0	3.6	0.6	5.8	7.0
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.0	0.6	0.6	0.5	0.3	0.5
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.3	1.3	2.9	2.5	3.6	0.5	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

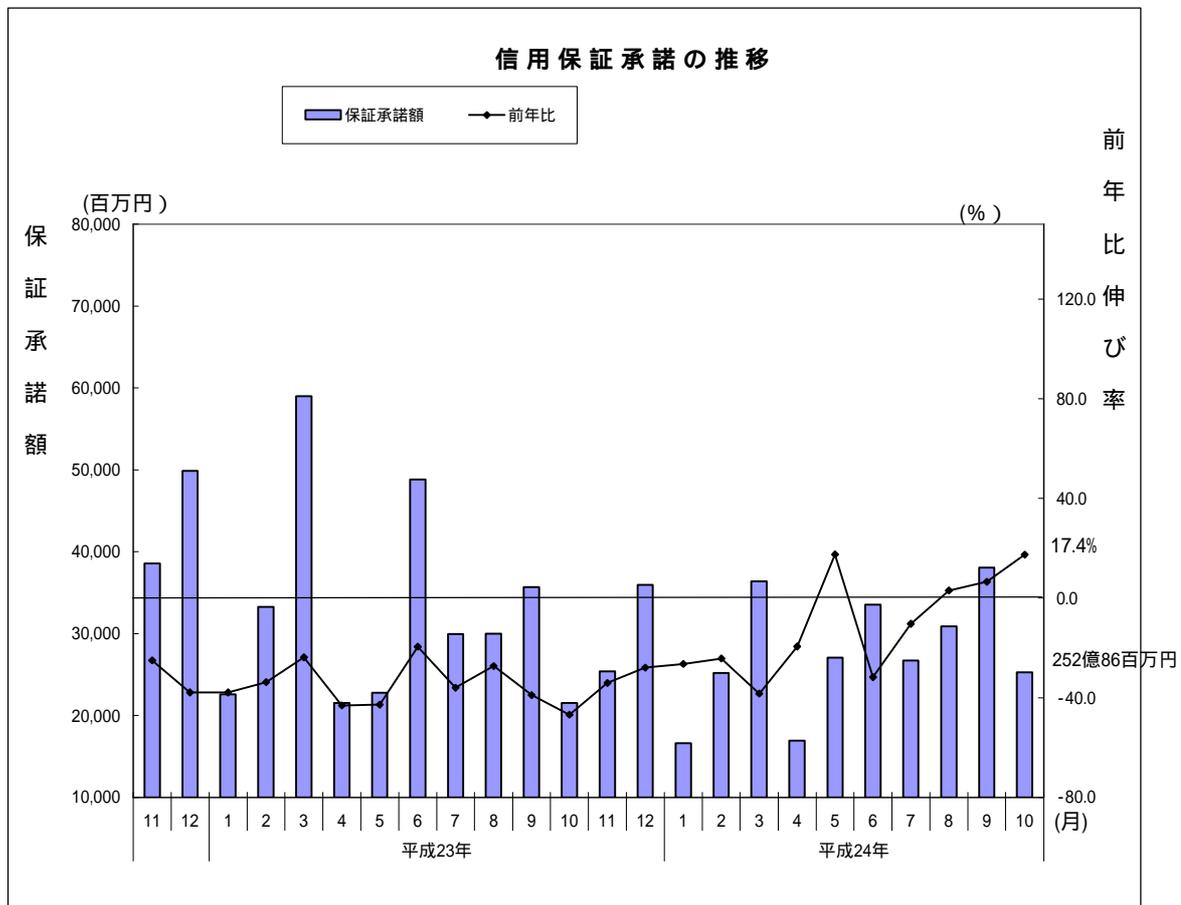
兵庫県信用保証協会による10月の保証承諾実績は、件数で1,602件(前年同月比2.7%増)、金額は252億86百万円(同17.4%増)となり、件数は5か月ぶり、金額は3か月連続で前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金23,310百万円(前年同月比23.2%増)、設備資金473百万円(同20.7%減)となり、運転資金は前年同月を上回り、設備資金は前年同月を下回った。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」5,573百万円(前年同月比60.5%増)、「運送・倉庫業」1,799百万円(同51.1%増)、「小売業」3,251百万円(同26.2%増)、「製造業」4,509百万円(同13.8%増)、「建設業」5,875百万円(同11.4%増)で前年同月を上回り、「サービス業」2,911百万円(同2.8%減)、「不動産業」781百万円(同27.4%減)、「飲食店」506百万円(同42.3%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、185件(前年同月比37.1%減)、20億92百万円(同47.1%減)となった。

10月末の保証債務残高は、110,205件(前年同月比5.0%減)、1兆2,843億円(同8.4%減)となった。



【金融】

10月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	142,373	2.6	55,231	0.8
地方銀行	24,010	1.9	20,175	4.7
第二地方銀行	31,610	2.8	19,702	0.6
信用金庫	79,493	1.1	37,676	1.5
その他	17,110	2.4	17,049	0.8
計	294,596	2.1	149,833	0.1

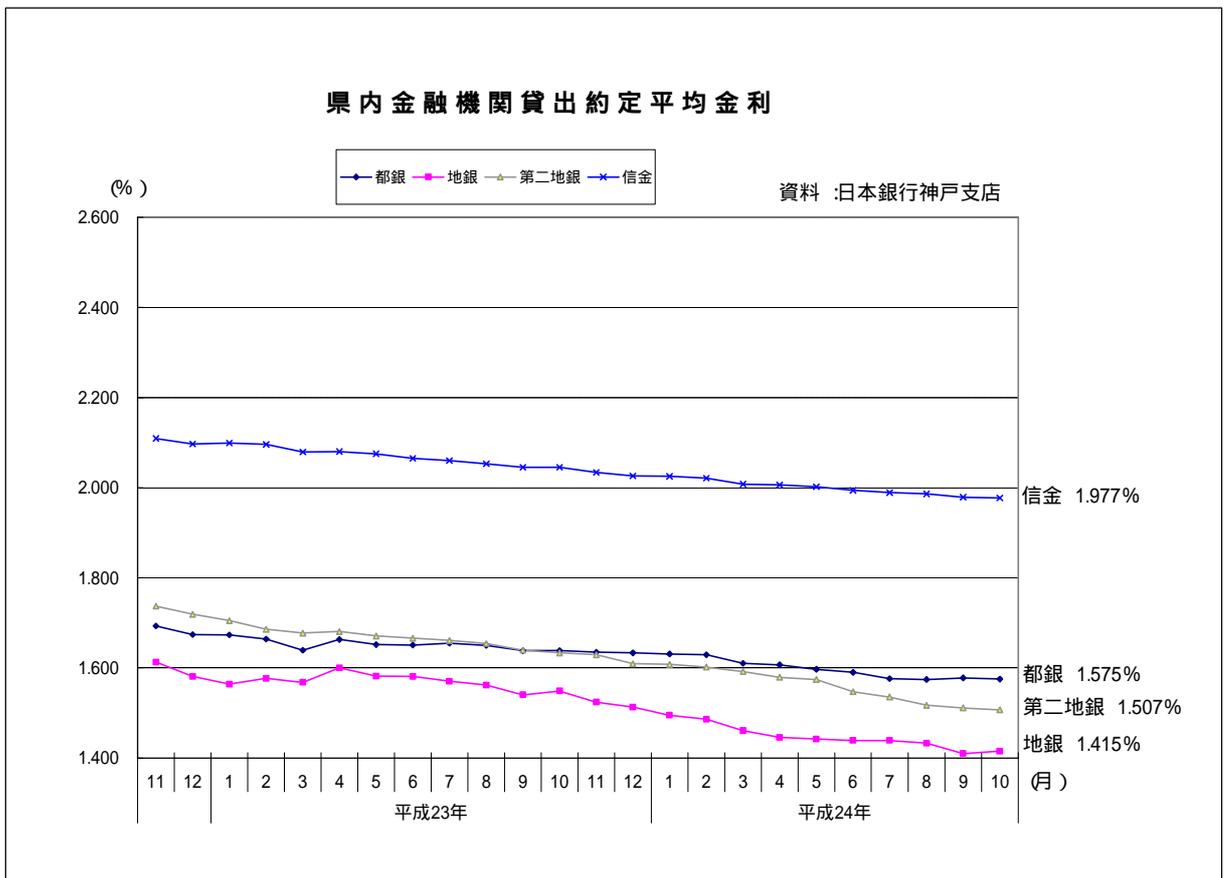
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

10月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.1%)

10月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.1%)

10月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(10月末水準 1.682%、前月比 0.001%ポイント)。



【倒 産】

県内 11 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 46 件で前年同月比 13.2%の減少、負債総額は 47 億 79 百万円で同 19.2%の増加となった。

倒産件数は、前月比 6 件の減少となり、11 月単月では過去 10 年間(平成 15 年以降)で最少となった。負債総額は、10 億円以上の大型倒産が 2 件あったが、1 億円未満の小口倒産が 38 件を占めるなど、小口主流で、11 月単月では過去 10 年間で 2 番目に少ない金額となった。

原因別(件数)では、販売不振が 30 件(全体の 65.2%)と当月もトップ。2 番目は赤字累積が 7 件であった。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 37 件と前月比 8 件の減少ながら、構成比は 80.4%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が 17 件(全体の 37.0%)と最も多く、次いで建設業が 10 件、金属・機械・電機業が 5 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が 20 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 16 件、「1 百万円以上」が 6 件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が 13 件でトップ、次いで「建設業」が 10 件、「製造業」が 7 件となった。

県下の企業倒産は、件数では 1 月、5 月、7 月、8 月を除き前年同月を下回っており、本年 1 年間の累計では前年を下回る公算が大きい。「中小企業金融円滑化法」や金融面での経済政策が、資金難に苦しむ中小企業などにはカンフル剤として機能し、倒産抑制に効果を発揮してきた。ただ、その間もデフレ不況に歯止めがかからず、企業体質の弱い中小・零細企業を取り巻く環境に大きな好転は見られない。平成 25 年 3 月の金融円滑化法の終了を控え 11 月 1 日、金融担当大臣は「金融検査・監督の目線やスタンスは、円滑化法の期限到来後も変わらない」旨の大臣談話を発表しており、こうしたことから金融機関の取引姿勢は、期限後も急に大きく変化はしないとみられる。また、金融円滑化法の「出口戦略」も事業再生を主とする柔軟な対応が優先される可能性が高く、危惧されていた倒産激増は回避できる見通しにあり、同法終了後の企業倒産はしばらくは緩やかな増加が見込まれる。

11 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	3	1	3	1	金属・機械・電気	5	5	0	7	-2
過小資本	0	1	-1	3	-3	化学・薬品	1	1	0	0	1
連鎖倒産	3	2	1	2	1	ゴム・皮革・ケミカル	2	2	0	2	0
赤字累積	7	3	4	1	6	食品	1	8	-7	9	-8
販売不振	30	41	-11	39	-9	建設	10	14	-4	16	-6
売掛金回収難	0	1	-1	1	-1	不動産・サービス	17	15	2	13	4
その他	2	1	1	4	-2	運輸・通信他	10	7	3	6	4
合計	46	52	-6	53	-7	合計	46	52	-6	53	-7

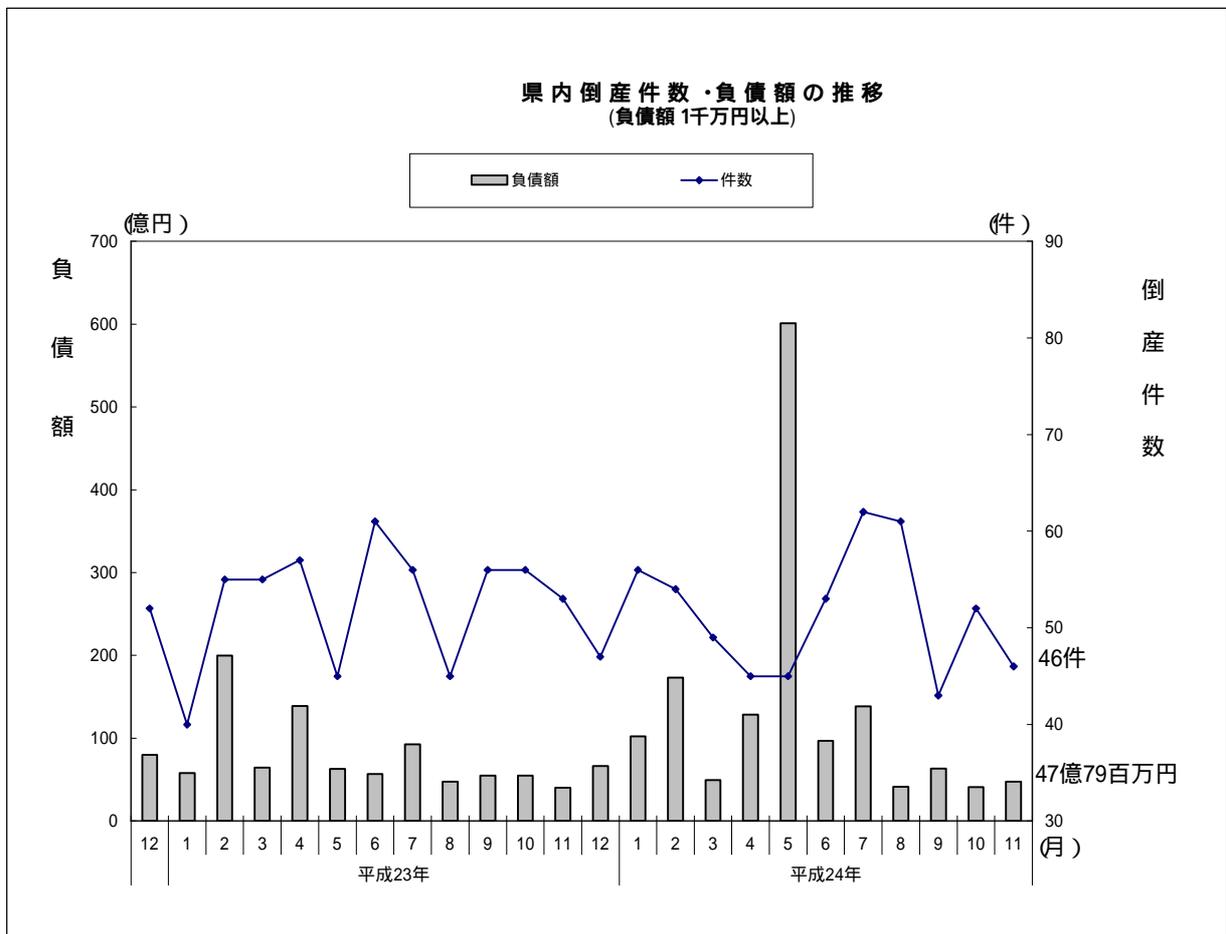
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0
24年 4月	45	14	14	7	6	1	2	1
24年 5月	45	16	18	5	5	0	0	1
24年 6月	53	18	25	4	3	1	1	1
24年 7月	62	16	28	4	11	0	1	2
24年 8月	61	22	22	6	5	1	1	4
24年 9月	43	15	14	4	9	0	0	1
24年 10月	52	22	11	8	3	2	0	6
24年 11月	46	12	17	8	7	0	0	2

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
23年	1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
	2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
	3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
	4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
	5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
	6月	101.8	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
	7月	100.3	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
	8月	99.3	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
	9月	96.8	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
	10月	98.7	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
	11月	97.5	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
	12月	98.7	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年	1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
	2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
	5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
	6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
	7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
	8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
	9月	r 93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
	10月	p 86.6	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
	11月					290	55.7	6.2			
	12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比	
23年	1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
	2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
	3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
	4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
	5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
	6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
	7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
	8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
	9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
	10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
	11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
	12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年	1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
	5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
	6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
	7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
	8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
	9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	r 4,271	-6.6	r 2,041	-6.5
	10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	p 4,032	-9.9	p 2,317	2.8
	11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2					
	12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局		神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与, 30人以上)		消費者物価指数 (22年 = 100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	(季調済) 0.57	(季調済) 0.61	1,001	0.2	98.9	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	99.2	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	101.1	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	100.8	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	99.7	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	100.1	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	100.1	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	99.5	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	99.8	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	99.9	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	101.4	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	99.9	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	r 99.5 p 98.8	-0.9	99.6	-0.4
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年 = 100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	1.6	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	1.9	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	102.2	2.2	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	102.1	2.2	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	101.9	2.0	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	101.1	1.3	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	101.0	1.3	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	101.0	0.8	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.2	-1.9	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	r 100.1	-1.0	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	p 100.1	-0.9				46	46	12	17	17
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値